

平成30年度行政評価 事務事業評価シート(平成29年度実績)

事務事業コード	030202030	予算コード	01022450	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B				
事務事業名	社会福祉センター管理運営事業			正規職員数 0.3	国庫支出金 0	有効性	B	指定管理者が仕様以上に適正な運営をしていることを市として評価している。今後も増加傾向にある高齢者（利用者）に対し、社会福祉センターの役割は大きい。					
担当課	高齢介護課			嘱託職員数 0	府支出金 0	効率性	B						
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数 0	市債 0								
	泉佐野市立社会福祉センター条例、泉佐野市立社会福祉センター条例施行規則、泉佐野市立老人福祉施設条例、泉佐野市立老人福祉施設条例施行規則			歳出(千円)	その他 12	妥当性	A						
				人件費総額 2,468	一般財源 38,584								
				減価償却費 0	事業費 36,128	受益者負担	A						
事務事業類型	施設管理事業			フルコスト(千円)	38,596	緊急性	C	事務事業実施内容					
実施手法	全部委託			市民1人当たりコスト(円)	384	公的関与	B	仕様書に基づき適正に施設の管理運営が行われている以上に、利用者側に立って管理運営を行うことができた。特に、経費削減のため、機械警備を導入し大幅な経費節減ができたことや清掃をシルバー人材センター委託に変更し高齢者に働く機会を与えることができた。さらに、施設の美化や掲示板を歩道壁面に設置するなど、利用者の利便性を高める環境作りに努めることができた。					
対象				活動指標	H29実績					実施主体・委託化	B		
不特定の市民	対象数			施設開館日数	293.0	他の事務事業との関連	A						
事業の内容										成果指標	H29実績	透明性	A
平成29年9月末までは、社会福祉センター（延べ床面積1,762.40㎡、昭和48年竣工、平成4年増築）の施設管理及び会議室の貸室、老人福祉センター部分での入浴サービス・健康相談・各種クラブ活動・健康機器及び談話室の利用提供などの業務を行ない、平成29年10月からは中庄1102番地に移転した社会福祉センター（延べ床面積1294.90㎡）の施設管理及び会議室の貸室、健康相談・各種クラブ活動・健康機器及び談話室の利用提供などの業務を行なっている。				施設利用者数	43,887.0	財政健全化計画	該当なし						
										財政健全化の取組	該当なし		
						コスト指標	H29実績					改革改善プラン達成度	該当なし
				事業の目的						施設利用者1人当たりの事業費（フルコスト/施設利用者数）	799.0		
				本市における社会福祉事業の進展を図るため、社会福祉関係団体との連携を強化し、団体活動の向上を図るために必要な事業を行う。また、老人福祉センター部分では、高齢者の健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を提供する。									